

静岡新聞朝刊

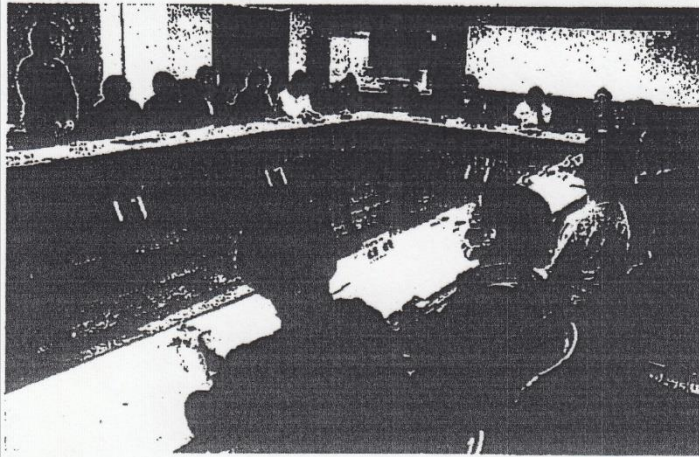
看護師、薬剤師「つながる会」発足について

磐田、森町の病院、訪問看護、薬剤師

持続可能な医療・介護へ

連絡会発足、連携を強化

磐田市と森町の病院、訪問看護ステーション、病院薬剤師が23日、磐田市大久保の市立総合病院で連絡会を発足させた。社会保障費が増大する中で持続可能な医療・介護サービスを提供するため、3者の連携強化を図る。



発足式には両市町の9病院と6訪問看護ステーションの看護師や薬剤師の代表計24人が出席し、各病院の専門知識や技能を有効活用し、地域の医療・介護水準の向上につなげる目標を確認した。

また、病院から在宅へと切れ目のないケアを提供するための

磐田、森両市町の看護師と薬剤師らでつくる連絡会の初会合は磐田市大久保の市立総合病院

基盤づくりの役割を担うことも了承した。具体的活動内容については、新年度からの「医療や介護の需要が増大する中、関係機関でスクラムを組んで地域共通の課題をともに認識し、その解決に当たりたい」とあいさつした。

磐田・森のつながる会

